

令和6年度 内子高等学校 シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	2単位	学年	1学年
教科書	新編現代の国語（東京書籍）		副教材等	漢字と語彙ビッグマスター2700（尚文出版）			

1 学習の目標

- ・実生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- ・論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で、自分の思いや考えを伝え合うことができる。
- ・言葉が持つ価値への認識を深め、読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	1 自己を見つめる ルリボシカミキリの青 気になるニュースについて話そう	・自己の経験を見つめ、新しい発見や感動をして、今後の生き方や在り方を考えます。	中間考査
	2 他者に出会う 水の東西 集めた情報の内容を検討して意見文を書こう	・情報を整理し、構成に注意して話します。	
	3 言葉と生活1 異なる種類の文章を読み比べよう	・日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質についての理解を深めます。	期末考査
第2学期	4 視野を広げる 無彩の色 情報を整理しながら話し合おう	・具体例の役割を押さえながら文章を読み、筆者の価値観と主張をつかみます。	期末考査
	5 社会と関わる 鍋洗いの日々 憧れの職業について調べ、整理してまとめよう	・話し合いの進め方を工夫し、考えを深めます。	
	6 言葉と生活2 新聞記事を読んで意見文を書こう	・自分の道を切り開いた筆者の体験談から仕事に対する思いを読み取ります。	
第3学期	7 世界とつながる 美しさの発見 読み手のアドバイスを生かして紹介文を書こう	・調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめます。	学年末考査
	8 未来に目を向ける 真の自立とは 資料を活用して発表しよう	・記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめます。	

3 評価の規準

【知識・技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通して積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価方法

学期ごとに、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期考査、単元テスト、小テスト、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

5 学習のアドバイス

国語の守備範囲はあらゆる分野に及びます。様々なことに興味を持って生活しましょう。また、意味の分からない語句に出会ったら、すぐに辞書で調べる習慣を身に付けましょう。積極的に本を読むことを心掛け、たくさんの言葉に触れましょう。